



# 日本国際教育学会

## JIES NEWSLETTER

February 2025 No. 36

### ニュースレター ダイジェスト

- 会長挨拶
- 第 35 回研究大会報告
- 第 35 回総会報告
- 2023 年度決算報告及び 2024 年度予算
- 2023 年度国際研究交流会報告
- 『国際教育』第 31 号原稿募集
- 第 36 回研究大会のご案内
- 2024 年度国際研究交流会のご案内
- 2024 年度日本国際教育学会役員一覧
- 事務局からのお知らせ



第 35 回研究大会（広島大学）

# 会 長 挨拶

## 学会の未来に向けて

第 35-36 期会長

佐藤千津 (国際基督教大学)

昨年の役員改選により第 35-36 期会長を拝命いたしました。はや 5 期目となり、重責を感じておりますが、気持ちも新たに全力で学会運営に取り組む所存です。本学会は 1990 年 8 月に創立されましたので、創立 40 年となる節目の年も遠い未来のことではなくなりました。近年は会員数も順調に増加し、多様なバックグラウンドを持つ会員が増え、学会活動はますます活発化しております。学会の更なる発展のため、会長として、また一人の会員として尽力いたしますので、皆様のご協力とご支援を今後ともお願い申し上げます。

さて、昨年 10 月には小川佳万理事を大会実行委員長とし、第 35 回研究大会を広島大学で開催いたしました。2001 年に広島大学で開催された第 12 回大会、2016 年の安田女子大学での第 27 回大会に続き、広島での開催は 3 度目でした。台風接近の影響で悪天候が続き、一時は開催も危ぶまれましたが、大会の 2 日間だけは爽やかな秋晴れとなり、美しい青空の下、多くの参加者を得て開催できました。今なお世界の平和と安定を脅かす動きが絶えない中、広島の地で改めて平和を祈り、平和への願いを込めながら、教育の未来をともに考える 2 日間になったのではないのでしょうか。

また、研究大会にあわせ、紀要第 30 号が発行されました。明石書店から発行される最初の紀要です。基本的な装丁は変わっていないものの、随所に改善を施しています。また、今号からは、大会までに当年度の会費を納入された皆様には明石書店から紀要を直接発送しております。学会の研究成果をより広く多様な読者に届けつつ、成果発表の場の一つとして紀要がますます充実することを期待いたします。

今年の活動計画としては、春にオーストラリアから Dr. Hongzhi Zhang (Senior Lecturer, Monash University) を講師に迎え、教育研究における「方法としてのアジア」に関する国際研究交流会をオンラインで開催する予定です。アジアの視点から研究対象を捉え直すという斬新な研究方法について考えてみます。どうぞご期待ください。

10 月には、呉世蓮理事を大会実行委員長とし、第 36 回研究大会を関東学院大学で開催いたします。横浜での開催は初めてです。歴史を辿れば、1859 年の横浜港開港や、1872 年の新橋—横浜間の日本初の鉄道敷設など、横浜は日本の近代化のフロンティアとして発展してきました。蒸気船が港に停泊し、蒸気機関車が桜木町を走った文明開化期の遺構は今も街の各所に残り、往時を偲ぶことができます。ぜひご参加ください。

最後に、1 日も早く世界中のあらゆる人々に平和と安らぎが訪れることを切に祈ります。また、これからの 1 年が会員の皆様にとって明るい未来へと続く幸多き日々となり、学会にとっちは確かな明日へ向けた更なる飛躍の年となることを心より願っております。

## 第 35 回研究大会報告

### 第 35 回研究大会をふりかえって

第 35 回研究大会実行委員長

小川佳万（広島大学）

本学会会員の皆様のご協力のもと第 35 回研究大会を無事に進行できたことを、まずは感謝申し上げます。広島大学東広島キャンパスは都会の喧騒から離れた郊外に位置しており、交通の便は必ずしも良いとは言えませんが、10月5日（土）と10月6日（日）の両日で計54名の参加者を得ることができました。また、今大会では広島県教育委員会及び広島市教育委員会、広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設から後援をいただいたこともあり、1日目午後の「公開シンポジウム」の参加者が60名とまずまずの人数であったことにほっとしております。また、2日目午前中の「課題研究」にも25名の参加者を募ることができました。

大会校の広島大学が企画した公開シンポジウム「多文化保育の課題と保育実践者への支援」では、保育行政・保育実践者・研究者の立場から、3名の報告者に多文化保育の課題や支援について報告をしていただきました。「保育行政の立場から」は三宅瑞穂先生（広島市こども未来局）に、「保育実践者の立場から」は濱名毅先生（学校法人あけぼの学院）に、「研究者の立場から」は吉田貴子先生（大阪国際大学短期大学部）にそれぞれご報告いただき、指定討論は私小川が、司会は中坪史典先生（広島大学）が務めました。保育関係者に広くお声かけしていたこともあり、フロアには保育に携わる方々が多く参加されていました。報告者への質疑応答も活発に行われ、行政・保育現場・研究者が多文化保育について交流する良い機会となったのではないかと思います。

2日目午前の研究担当が企画した課題研究「SDGsの推進とESDの展開—国際教育的取り組みを軸にして—」では、栗栖淳先生（国土舘大学）・吉田尚史先生（福岡女学院大学）の司会のもと、「公害教育の観点から」古里貴士先生（東海大学）に、「社会統合の観点から」佐野敦子先生（明治学院大学・研究員）に、「アイヌとSDGsという観点から」上野昌之先生（東京都立大学・非常勤）にご報告をいただきました。

そして、自由研究発表では6つの分科会で、合計19件の報告がなされました。このように今大会を大きな問題なく無事に終えることができたのは、ひとえに本学会の会員の皆様のご協力のおかげです。また、大会事務局長の中坪史典先生（広島大学）、大会事務局長次長の黒木貴人先生（福山平成大学）、大会実行委員の石井由理先生（山口大学）、内田直義先生（就実大学）、事務局員の石井佳奈子さん（広島大学大学院生）には、準備段階から大会当日までご尽力いただきました。また、広島大学の学生の皆様にも当日の運営をサポートしていただきました。ご協力いただいた方々に、心より感謝申し上げます。

## 第 35 回総会報告

今年度の総会は研究大会 1 日目に対面形式で実施されましたが、出席者が会員の過半数に満たなかったため、決議は仮決議とし、1 か月後までに異議等が示されなければ本決議となることが確認されました。その後、1 か月後の 11 月 5 日までに質問及び意見はありませんでした。そのため、「日本国際教育学会規則」第 5 条の規定に基づき、仮決議を本決議とし、すべての議題が原案通りに承認されました。

### 第 35 回総会議題

開催日時：2024 年 10 月 5 日（土） 15 時～16 時

開催場所：広島大学東広島キャンパス 教育学部 L 棟 L205

#### I. 報告事項

1. 第 35 回研究大会の開催について
2. 2023 年度（2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日）会務報告
  - (1) 学会（会員数）の現況【資料 1-1】
  - (2) 2023 年度活動報告【資料 1-1】
  - (3) 2023 年度決算報告【資料 1-2】
3. 2023 年度会計監査報告【資料 1-2】
4. 各種委員会等報告
  - (1) 紀要編集委員会【資料 2】
  - (2) 学会賞選考委員会【資料 3】
  - (3) 研究担当【資料 4】
  - (4) 国際交流担当【資料 5】
5. 第 35-36 期役員選挙結果
  - (1) 役員選挙の実施及び選挙結果【資料 6】
6. 第 35-36 期理事会体制
  - (1) 新役員及び会務分掌【資料 7】
  - (2) 事務局組織【資料 7】
7. 第 35-36 期各種委員会組織【資料 7】
8. その他

#### II. 審議事項

1. 会計監査の選任について
2. 2024 年度（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）事業計画
  - (1) 2024 年度活動計画（案）【資料 8-1】
  - (2) 2024 年度予算（案）【資料 8-2】

3. 第36回研究大会の開催日程及び会場について【資料9】
4. 学会規則（第3条「会員の資格及び構成」及び第4条「会員の権利義務」）の改正【資料10】
5. 学会規則（第13条「学会所在地及び取扱い金融機関」）の改定【資料11】
6. 「学会賞・奨励賞の選考に関する規則」の改正【資料12】
7. その他

### Ⅲ. その他

#### 議長団解任

- 資料1-1. 2023年度（第34期）活動報告（期間：2023年8月1日～2024年7月31日）
- 資料1-2. 2023年度（第34期）会計報告（期間：2023年8月1日～2024年7月31日）
- 資料2. 紀要編集委員会報告
- 資料3. 学会賞・奨励賞選考委員会報告
- 資料4. 研究担当報告
- 資料5. 2023年度国際研究交流会実施報告
- 資料6. 第35-36期役員選挙結果について
- 資料7. 第35-36期理事会・各種委員会（案）
- 資料8-1. 2024年度（2024年8月1日～2025年7月31日）活動計画（案）
- 資料8-2. 2024年度予算案（会計年度：2024年8月1日～2025年7月31日）
- 資料9. 第36回研究大会開催について
- 資料10. 「日本国際教育学会規則」等の改正について
- 資料11. 「日本国際教育学会規則」改定（案）
- 資料12. 「学会賞・奨励賞の選考に関する規則」の改正について

## 2023年度国際研究交流会報告

第33-34期国際交流担当理事  
楊 武勳（国立暨南国際大学）

2023年度の国際交流活動は、2024年3月9日（土）（14時00分～15時30分）に、台湾国立暨南国際大学のBiung Ismahasan先生をお招きし、“Can Indigenous Art be a Tool for Educational Turn?”をテーマとするオンライン研究交流会（Zoom）を開催いたしました。Biung Ismahasan先生は、台湾における先住民族の文化に対する認識および再認識を促進するために、政府や文化関係者が教育および文化振興に力を注いでいることを強調されました。特に、先住民族芸術文化の企画展が、特定の文脈に基づいて作品を観客に紹介するという教育的な役割を果たすことについて指摘されました。さらに、台湾先住民族の文化政策に関わるジレンマ、1990

年以降の文化政策および企画展の発展、先住民族間の交流と協働の事例などについても紹介がありました。また、先住民族政策に関連する教育的・文化的な論点、および環境保護や気候変動といった公教育の重要な課題に関する議論も展開されました。

当日は、非会員を含む16名が参加し、活発な質疑応答がなされ、先住民族の言語や知識を通じて先住民族の文化を知るという内容に対する理解が一層深まる場となりました。

## 『国際教育』第31号原稿募集

日本国際教育学会紀要編集委員会では『国際教育』第31号(2025)の発刊に際し、自由投稿の研究論文、研究ノート、調査報告、教育情報、資料紹介を募集いたします(2025年3月1日必着)。原稿の投稿に関しましては、本学会公式ウェブサイト(<https://jiesofficial.com>)の「学会紀要」のページで最新情報をご確認ください。会員の皆さまの積極的な応募をお待ちしております。

CALL FOR PAPERS: JOURNAL of INTERNATIONAL EDUCATION Volume 31

Submissions to the 31st edition of the Journal of International Education are now being accepted, with a deadline of March 1, 2025. Authors making submissions in English should review the Additional Guidelines for English Manuscripts. Any manuscripts not conforming to this procedure will not be accepted. Authors should also refer to the latest version of this procedure in addition to the Provisions for Editing Bulletins of JIES on the JIES website (<https://jiesofficial.com>) before submission.

## 第36回研究大会のご案内

第36回研究大会実行委員長  
呉世蓮(関東学院大学)

第36回研究大会は下記の通り開催することとなりましたのでご案内いたします。微力ではございますが、皆様にご満足いただける大会となるよう実行委員一同努力して参りますので、ぜひご参加・ご協力をお願いいたします。

日程: 2025年10月11日(土)・12日(日)

会場: 横浜・金沢八景キャンパス(〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1)

アクセス: 京浜急行線の「金沢八景駅」からは京急バス「関東学院循環」乗車約5分または徒歩約15分です。(詳細は大学ウェブサイト <https://univ.kanto-gakuin.ac.jp/about->

university/location.html をご参照ください)

自由研究発表・大会参加申し込み：別途大会案内をご覧ください。

それでは仲秋の2日間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 2024年度国際研究交流会のご案内

### 教育研究における「方法としてのアジア」

#### — 「新たな」研究の想像から理論的・方法論的イノベーションへ—

本研究会では、アジアの伝統的な教育哲学からインスピレーションを得て、イノベーティブで影響力があり研究可能な概念である「方法としてのアジア」を確立したモナシュ大学教育学部シニアレクチャーのDr. Hongzhi Zhang を迎えます。「教育研究における方法としてのアジア」はアジアを単なる地理的ないし文化的地域として捉えるのではなく、新たな研究方法を築き上げる土台として位置付けることを提案しています。古典的なヨーロッパ中心主義的枠組みを疑問視し、アジアの文脈、視点、思想を教育の理論と実践に統合することを推奨する方法です。この「方法としてのアジア」は、アジアの一国である日本にとっても輸入されたヨーロッパ中心主義の学問的枠組みを乗り越え、独自の視点に基づいた研究的立場を模索する上で有用な視点です。そこで本研究会では、アジアの視点に根ざした研究を行うことで、多様かつ創造的なアプローチを開発し、多文化アイデンティティ、相互接続性、グローバル多様性といった複雑なテーマをアジア特有のレンズを通して捉え、グローバルな教育研究を深めることについて学びつつ、新たな研究方法のあり方を考えてみます。

近年アジアの教育をテーマにしている研究者が増える中で、当視点は示唆に富むものとなることでしょう。会員以外の方もお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。開催日時等の詳細は決定次第お知らせします。

## 2024年度 日本国際教育学会役員一覧

### 理事会

役職	氏名	所属	担当
会長	佐藤 千津	国際基督教大学	—
副会長	吉田 尚史	福岡女学院大学	—
顧問	岩崎 正吾	首都大学東京 (名誉教授)	—
理事	赤尾 勝己	関西大学	紀要
同	石井 由理	山口大学	紀要

同	上野 昌之	東京都立大学 (非常勤)	広報
同	呉 世蓮	関東学院大学	研究大会 (第 36 回)
同	小川 佳万	広島大学	学会賞
同	Jeffrey Gayman	北海道大学	国際交流
同	澤田 敬人	静岡県立大学	規程
同	島川 崇	神奈川大学	研究
同	Zane Diamond	Monash University	国際交流
同	玉井 康之	北海道教育大学	研究
同	趙 天歌	早稲田大学 (研究員)	ニューズレター
同	新関ヴァッド郁代	産業能率大学	総務
同	服部 美奈	名古屋大学	研究大会 (第 37 回)
同	平山 雄大	お茶の水女子大学	事務局
同	前田 耕司	早稲田大学 (名誉教授)	リエゾン
同	楊 武勳	国立暨南国際大学	規程

#### 事務局

役職	氏名	所属
事務局長	平山 雄大	お茶の水女子大学

#### 会計監査

役職	氏名	所属
会計監査	小野寺 香	奈良女子大学
同	栗田 梨津子	神奈川大学

#### 各種委員会

役職	氏名	所属
紀要編集委員会 委員長	赤尾 勝己	関西大学
同副委員長	渡部 孝子	群馬大学
同委員	石井 由理	山口大学
同	栗栖 淳	国士舘大学
同	寺野 摩弓	国際協力機構
同	平井 華代	追手門学院大学
同	平岡 さつき	共愛学園前橋国際大学
同	米澤 由香子	東北大学
同幹事	田中 達也	釧路公立大学
学会賞選考委員会 委員長	小川 佳万	広島大学



同副委員長	太田 浩	一橋大学
同委員 (紀要編集委員兼任)	平岡 さつき	共愛学園前橋国際大学
同	澤田 敬人	静岡県立大学
同	楊 武勲	国立暨南国際大学
同幹事	内田 直義	就実大学

## 事務局からのお知らせ

### 1. 連絡先・ご所属の変更に関して

ご所属の変更等にもない会員資格や連絡先に変更があるかたがいらっしゃいましたら、事務局までメールにてご連絡ください。

#### 【事務局メールアドレス】

jies.office■gmail.com

■を@に置き換えてください

### 2. 会費納入のお願い

2024年度(2024年8月1日～2025年7月31日)会費を未納のかたは、ご納入くださるようお願い申し上げます。

#### 【納入先】

郵便振替口座名義：日本国際教育学会

口座番号：00130-7-124562

ゆうちょ銀行 〇一九 店(ゼロイチキユウ店) 当座 0124562

### 3. 新たな会員資格に関して

第35回総会にて、新たな会員資格の追加及びそれに伴う規定の改正が承認されました。新たな会員資格は「名誉会員」と「シニア会員」です。詳細は、以下の学会ホームページから学会規則第3条「会員の資格及び構成」をご確認ください。

<https://jiesofficial.com/regulation/#regulation1>

### 4. 新入会員紹介

会員限定公開コンテンツにつき、非掲載とします。

日本国際教育学会 Newsletter No. 36

編集発行 日本国際教育学会 代表 佐藤千津  
〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1  
お茶の水女子大学グローバル協力センター

発行所 平山雄大研究室気付  
[jies.office@gmail.com](mailto:jies.office@gmail.com)  
<http://www.jies.gr.jp>

発行年月日 2025年2月12日